



2011・5・12

第 147 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「講演会」で復興へのメッセージ予定

よびかけ人会議ひらく

九条の会のよびかけ人会議が4月18日開かれ、よびかけ人のうち、大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝、鶴見俊輔の4氏が参加しました。

会議では、3人のよびかけ人が亡くなられたが、発足時の九条の会アピールを引き続き受け継いでいくとともに、それぞれがよびかけ人としての役割を果たしていくことを確認しました。また、6月の「九条の会講演会」では、東日本大震災という未曾有の災害にたいするそれぞれの考えをのべることで、九条の会結成7周年にあたってのよびかけ人としてのメッセージを、印刷して当日の参加者に配ることとしました。さらに、「講演会」にも震災との関係を明らかにするサブタイトルをつけることとしました。その結果、講演会の名称には別項のとおりサブタイトルをつけることになりました。

このほか、「九条の会」は各地の「会」が自主的な組織であることを尊重しつつ相互の交流をおこなうことや、「九条の会」の財政を自主性を持った健全なものとして維

未来世代にのこすもの—

私たちは何を「決意」したか

九条の会講演会

◇とき 6月4日(土) 13時30分
(開場 12時30分)

◇ところ 東京日比谷公会堂

◇講師 大江健三郎(作家)
奥平康弘(憲法研究者)
澤地久枝(作家)
鶴見俊輔(哲学者)
(4月1日現在予定)

音楽: 松野迅さん(ヴァイオリン)

風呂本佳苗さん(ピアノ)

◇参加費前売り 1000円 当日 1500円

◇申込方法 郵便局備え付けの振替用紙の通信欄に「講演会入場券〇枚希望/名前・住所/電話番号」をご記入の上、00180-9-611526 九条の会 の口座に1人につき 1000円をお振込みください。なお、定員に達した時点で締め切らせていただきます。

持することなども論議されました。

分野別の「会」の交流会も

全国規模で活動する各分野の「会」の会合が、活動の交流と、「九条の会講演会」の成功に向けてどのように協力しあうかの意思統一をかねて開かれました。

「会」の活動交流では、「9条美術展」(美術の会)、「9条サロン」(歌人の会)など、分野の特色を生かした取り組みが定着し、参加者のすそ野が広がっている例が紹介されました。また、子どもと教員をテーマにした学習会(教育・子育ての会)、比例定数削減問題やTPPなど時事問題を取り上げた学習会(マスコミ)などをねばり強く続けている経験も報告されました。

会議では、あらためて、東日本大震災後の新たな情勢のもとで、6月の「講演会」を成功させることがますます大事になっていることを確認し、それぞれのもてる力をだしあうこととしました。

原発依存の政策転換を求めて

【九条の会・はつかいち】 広島県廿日市市の「九条の会・はつかいち」は4月30日、世界遺産の厳島神社の行楽客でにぎわう宮島口フェリー桟橋前で、「日本国憲法を変える？変えない？」と「原発なしで暮らしたい 賛成？反対？」のシール投票と宣伝をしました。

12人が憲法の前文や9条、25条を印刷したビラを配布し、新田秀樹共同代表が「福島第1原発事故は人災です。被爆地ヒロシマの経験から、目に見えない放射能汚染の影響は計り知れません」とハンドマイクで訴えました。

福島第1原発から約210キロ離れた群馬県高崎市から広島市安芸区に自主避難している石井晶子さんも宣伝行動に参加し、「被爆地ヒロシマから放射能被害を訴えることは説得力がある」と語っていました。

【岐阜・9条の会】 岐阜・9条の会は4月5日、河田昌東さん(NPO法人チェルノブイリ救援・中部理事)を招いて「福島原発震災とチェルノブイリ事故」と題する集会を開き、23人が参加しました。

河田さんは、4月26日で25年目となるチェルノブイリ原発事故の状況を紹介し、とくにその経験から、「福島原発問題で一番懸念していることは、事故処理にあたっている作業員たちの被爆です」と語りました。

参加者からは「マスコミ報道に疑問を感じるが多かったが隠さず伝えてもらいたい」などの感想が寄せられました。

新入生も迎えて7周年のつどい

【日本福祉大学九条の会】 「日本福祉大学九条の会」は4月23日、結成7周年のつどいを開き、学生や教職員150人が参加しました。主催者あいさつでは、代表世話人の大場和久教授が「将来を担う学生の皆さんが憲法や平和について学び、運動の輪を広げてください」とよびかけました。

日本国際ボランティアセンターの藤屋リカさんが「武器によらない平和づくりを」をテーマに講演し、イスラエル占領下のパレスチナの人々の状況を報告しました。

入学したばかりの男子学生は、「平和問題に関心があったので参加しました。友だちに声をかけて『憲法を守れ』の運動の輪を広げていきたい」と語りました。